

# 西光寺だより

第二九二号 令和八年 八月一日発行

深く知る、仏事・行事

お盆迎える心持ち



「お盆には、特別な準備が必要なのは…」

大切な方を亡くして初めて迎えるお盆。どう迎えていいのだろうか  
とインターネットで検索したり、本を探す人も多いのではないでしょ  
うか。ネットには「お盆のお供え物のしきたり」「お盆の供養の仕方」:  
など、いろんな宗旨、はたまた会社などの情報があふれています。

でも、ご安心ください。

浄土真宗にご縁のある方々は、お盆を迎えるための「特別な準備」  
は必要ありません。

お念仏のみ教えをいただき、仏さまの国(浄土)に生まれた亡き方々  
は、阿弥陀仏とともに、大いなる慈悲の心で、迷いの中で苦しむ私た  
ちを、いつも見守ってくださっているのです。

そして、さまざまなご縁を通して私たちを仏前に誘(いざな)って  
くださっています。

ですから、亡くなった方々の罪障(ざいしょう)を除き、冥福(めい  
ふく)を祈るために行う「追善供養」(ついぜんくよう)は必要ありま  
せんし、精霊棚(しょうりようだな)、施餓鬼棚(せがきだな)もいり  
ません。

亡き方の恩に感謝し、仏さまの救いにあい、お浄土に先にいかれた  
方々と、やがてはお浄土であえるというみ教えを聞いていくのが浄土  
真宗です。その仏さまを「南無阿弥陀仏」といいます。

お念仏をとなえ、み教えを喜ぶ身になってほしいという、亡き方た  
ちの願いを聞いていただきたいのです。

ぜひとも、お寺で行われる法要、家庭でのお盆参りで法話を聞いて  
ください。そして、仏さまのお話を通して、わが身を振り返る大切な  
機会にしていきましょう。